

北川村子育て教育ビジョンの取組報告 及び当面の検討事項

～子育て・教育環境の充実を目指して～

令和2年7月
北川村教育委員会

ビジョン作成の背景

- グローバル化、IT化、高齢化、人口の減少など社会環境の変化
 - 令和2年度より戦後最大の教育改革が始動
 - 守りたい北川村ならではの地域資源
 - 年少人口の減少による村の教育環境の変化
- +
- コロナウィルス感染症拡大による生活様式の変化

村の未来を支えてもらう子どもたちの教育環境を
地域一丸となって早急に整備する必要

北川村の年少人口が減少傾向

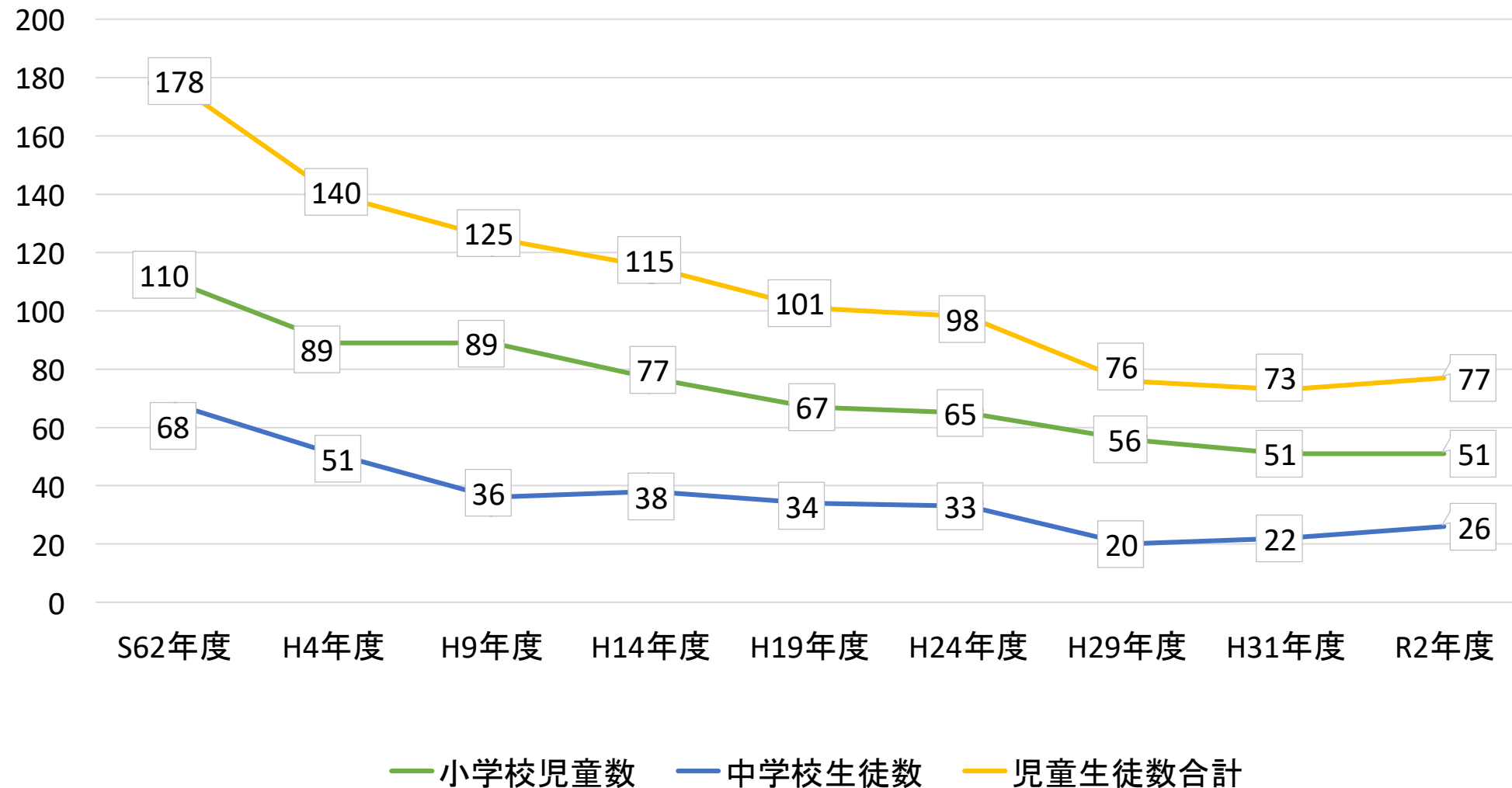
実態

- 平成以降、**小学校の児童数推移**を見ると**約半減**になっている。
- 現在、小学校では複式学級が2つになるところであるが、本年度より**教頭と小中一貫加配教員により、複式学級を解消**している。

将来的な見通し

- このまま対策を講じなければ、**10年以内には完全複式となる可能性**が高く、**子ども同士切磋琢磨できる環境が失われていく**ことが想定される。
- また、**完全複式になると、教員定数が減少**し、教育環境の充実が図りにくくなる他、人口減少は、村の存続や学校の存続にも大きく関わってくる。
- そうならないようにするために、今から**将来を見据えた子育て・教育の在り方について、地域ぐるみで議論**していく必要がある。

北川小中学校 児童生徒数の推移(S62～R2)



令和2年度 園児・児童生徒数(R2.7.1現在)

みどり保育所							
	たんぽぽ			あか	き	みどり	合計
	0歳児	1歳児	2歳児				
男	0	1	3	4	3	3	14
女	0	1	2	0	3	2	8
合計	0	2	5	4	6	5	22
小学校							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	2	4	3	6	4	3	22
女	5	6	4	3	5	6	29
合計	7	10	7	9	9	9	51
中学校							
	1年	2年	3年	合計			
男	4	3	6	13			
女	5	4	4	13			
合計	9	7	10	26			

今後の小学校児童数の推移(は複式対象学級)

令和2年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	7	10	6	6	9	8	5	51
令和3年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	5	7	10	6	6	9	4	47
令和4年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	6	5	7	10	6	6	4	44
令和5年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	4	6	5	7	10	6	1	39
令和6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	5	4	6	5	7	10	—	37
令和7年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	合計
児童数	3	5	4	6	5	7	—	30

※令和6年度までは教頭と小中一貫加配により、複式学級解消が可能
※少人数になってきた場合、複式学級を解消するのか複式学級とするのか議論が必要

参考:複式学級の基準
小1～2 8名以下
小2～6 16名以下
中学校 8名以下

※令和7年度以降は全ての学年での複式解消は困難な状況
※将来的には中学校においても複式の可能性が高くなる

15才までに育てほしい子どもの姿

子どもの現状

学力調査やアンケートから見える子どもの実態

■学力が向上傾向にある

H30・H31全国学力・学習状況調査では全国平均を大きく上回っている

■村に誇りを持ち、愛着を感じている子どもが多い

H30学校評価アンケート「北川村が好きですか」小学校児童肯定回答100%

■自分の考え・思いを相手に伝えることについては改善の余地がある

H28～30学校評価アンケート 「そう思う」回答 74%→57%→63%

また、地域・保護者・保育所・学校・行政などで村の子どもの現状を議論

『自己肯定感が低い』『表現する力が弱い』『生活リズムがついていない』

『人間関係の固定化』『地域コミュニティの弱体化』などの課題もあると分析

15才までに育てほしい子どもの姿

現状を踏まえて、中学校卒業時までに

- 確かな学力
- 規範意識
- コミュニケーション力
- 自尊感情
- 自立心
- 故郷への愛着と誇り

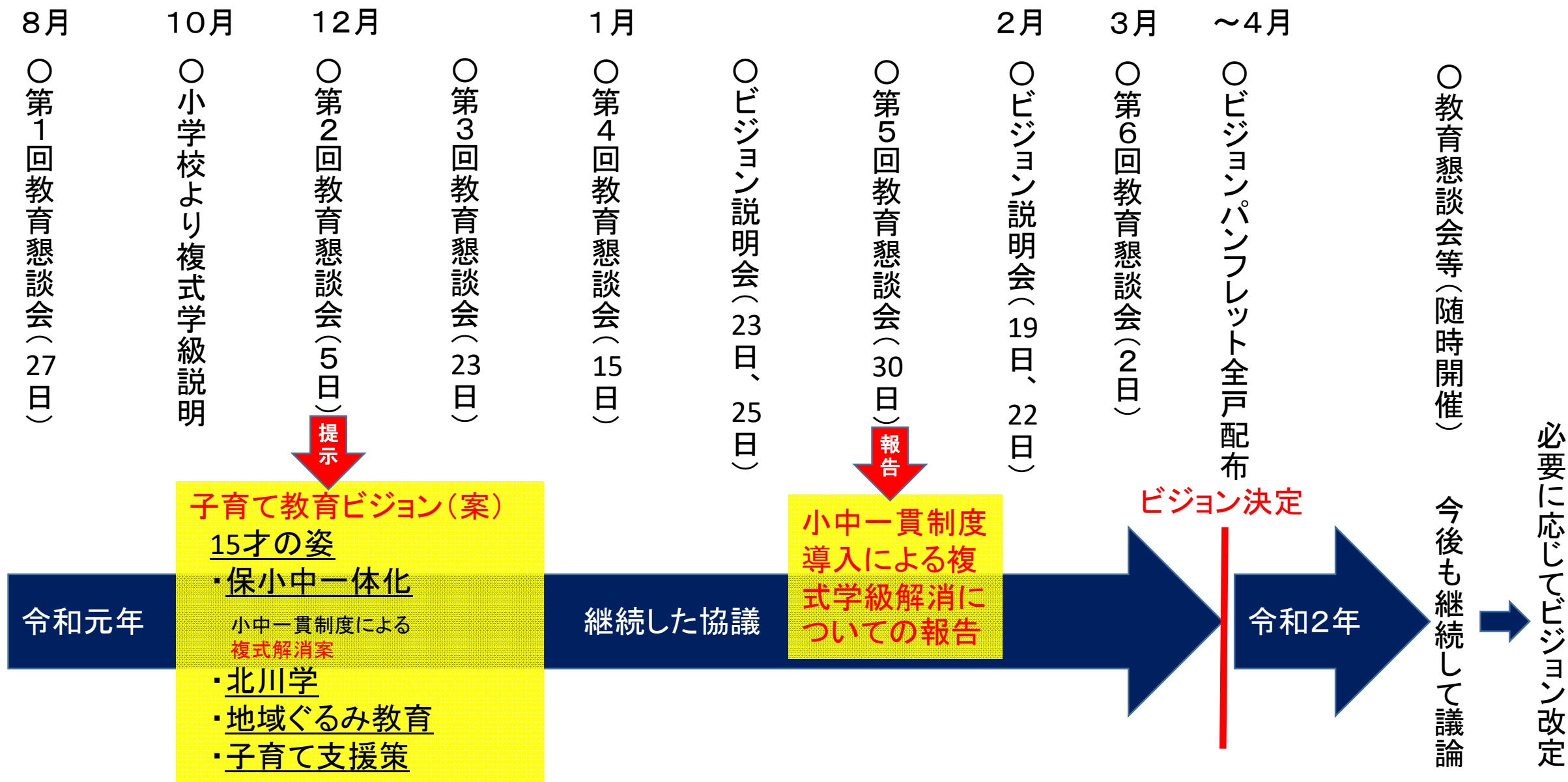
目指す子ども像

『ふるさとへの愛着と誇りを持ち、
学ぶ意欲にあふれ、
未来を切り拓く、
社会性豊かな子ども』

をしっかりと身に付けた

に育ててほしい。

昨年度からの議論の状況



子育て教育ビジョン(令和元年3月策定)の構成

■15才までに育ってほしい子どもの姿

■ビジョン4つの柱

1 保小中の一体的な取組

- ・15年間の一貫した教育で誰ひとり取り残されず学ぶことができる魅力的な環境を創る

2 北川学

- ・地域資源を活かした探究的な学びを通じてふるさとへの愛着と誇りを育む

3 地域ぐるみ教育

- ・コミュニティスクールとして学校と地域が協力し、地域全体で子どもたちを育む

4 子育て支援

- ・子育てしやすい環境を村全体で構築する

■今後の検討事項

なぜ保小中一体化なのか？

目的

- 村で育ち学ぶ子どもたちが、15年間の一貫した教育で、一人一人の個性や特性を発揮しながら、誰ひとり取り残されず学び、村の将来を担う人材になることができるための魅力的な環境をつくる

一体化のメリット

- 異学年交流や乗り入れ授業等による自己肯定感の高まり、学習意欲や学力の向上、規範意識の向上などが期待できる。
- 校種間交流活動など、保小中が連携を図ることにより、小1プロブレムや中1ギャップを未然に防ぐための取組が効果的に展開できる。
- 子どもの発達段階に合わせた柔軟な指導（例えば、保小中間での乗り入れ授業、柔軟な学年設定、授業の前倒し・先送り等）が可能。

具体的な取組～保小中の一体的な環境整備の推進～

令和2年度具体的内容

- ① 複式学級の解消と小中連携の深化
→ 手厚く魅力的な教育環境の維持・発展
- ② 北川学の充実
→ 地域資源を活かした探究的な学びを通じて、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、村に貢献できる子どもを今以上に育む
- ③ 学校運営協議会制度を活用した地域ぐるみ教育の推進
→ 地域全体で子どもを支える仕組みを構築
- ④ パソコン端末・電子教科書等、ICT環境の整備
→ 子どもに興味関心を抱かせわかりやすい授業を提供
教職員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を増やす
- ⑤ 公認心理師の配置
→ 子どもの力を最大限に発揮できるようにするための支援を充実
- ⑥ 子育て支援として、経済的支援や放課後子ども教室を充実
→ 子育て世代への支援とともに移住促進を図る一助とする

具体的な取組 ①複式学級の解消と小中連携の深化

- ・ 本来 2 つの複式学級となるところを教頭と小中一貫加配教員によって複式を解消。
 - ・ 中学校教員が小学校の英語や音楽等へ、また、小学校教員が中学校の数学の支援に入るなど、乗り入れ授業を拡充。
 - ・ 教職員の小中合同研修を実施。
 - ・ 小中合同行事や異学年交流については、コロナウィルスの影響で実施できていないが、今後可能なものから実施していく方向。
- ※保小連携についても、これまで実施してきた年長児と小学 1 年生との交流活動や、教員同士の連絡会・研修会、小学校教員の保育者体験や出前授業等について、可能なところから実施している。

具体的な取組 ②北川学について

・子どもの探究的な学びの姿勢を育むとともに、地域に愛着と誇りを持たせ、地域に貢献しようとする人材を育成。

・地域資源をテーマに、生活科・総合的な学習の時間において小中9年間を見通しながら学習を展開。

・成果：郷土（北川村）が好きですか？

【全ての児童が肯定的評価】（学校評価児童用アンケートより）

地域の中で自分にできることはないか考えることがある

【年度当初3. 5 → 年度末3. 6】（北川学授業の振り返り（児童用）より）

学習のまとめや振り返りを自分の言葉で表現することができた

【年度当初3. 2 → 年度末3. 6】（北川学授業の振り返り（児童用）より）

話し合いや意見交流で、考えを深めたり広げることができた

【年度当初3. 5 → 年度末3. 8】（北川学授業の振り返り（児童用）より）

■令和2年度公開授業について

・6月16日（火）中2「ゆず産業の課題解決に向けて考えよう」

・11月 5日（木）小4「北川村のゆずのすごさを見つけよう」

・7月14日（火）小3「北川村のすご～い人をさがそう」

・12月15日（火）中1「だれもが元気になる村づくりを考えよう」

・10月23日（金）小1「たのしいあきいっぱい」

・1月19日（火）小5「北川村のモネの庭の魅力を見つけよう」

・10月23日（金）小6「災害から命を守ろう助けよう大作戦」

・2月 1日（月）小2「あしたへジャンプ」

・10月23日（金）中3「豊かな地域社会の創造と自己の生き方を考えよう」

※コロナウィルス感染症の防止対策を講じるため、1学期の公開授業は該当学年の保護者に限定して公開。今後、授業を村民の皆様に広く公開できる状況になれば、改めて村内放送等でご案内します。

※企業等と連携した学習の一環として、ICTを活用した遠隔授業を実施する方向で検討中です。

※村のホームページ「子育て教育ビジョン」内に公開授業の様子を掲載していますので、ぜひご覧下さい。

具体的な取組 ③地域ぐるみ教育について

・コミュニティ・スクールとして、保小中学校運営協議会（保護者や地域の代表者が学校や保育所の運営方針等について協議・承認する組織）と地域学校協働本部（地域人材によるボランティア組織）との両輪で、地域とともにある学校づくりを推進する。

■地域ボランティアを必要とする今後の行事等の予定

- ・8月23日（日）……………小中学校愛校作業
- ・9月4日（土）……………保育所園庭等の整備作業
- ・11月4日（水）……………村内美化運動
- ・11月12日（木）……………保育所の畑の畝づくり
- ・12月3日（木）または4日（金）……保育所昔遊び体験
- ・随時……………北川学に関する活動

※ボランティア登録をして頂いている方に案内を行う予定です。特に作業を伴う内容については人手があればあるほど助かります。

※現在、55名の方に登録頂いています。今後も登録の声掛けをお願いします。

（登録カードは、村ホームページ内「子育て教育ビジョン」内に掲載しています。）

具体的な取組 ④パソコン端末・電子教科書等のICT環境の整備

- ・子どもに興味関心を抱かせ**わかりやすい授業**を提供する。
- ・いかなる場合にも**子どもの学びを止めない**学習環境を保障する。
- ・教職員の教材準備等の負担を軽減し、**子どもと向き合う時間**等を増やす。

■令和2年度整備予定

- ・小学校に**電子教科書を導入**。（中学校は次年度導入予定）
- ・**子ども一人一台パソコンを配布**。（2学期中を予定）
- ・家庭においてパソコンで英語や算数などの主要教科の学習が展開できる**学習ソフトを活用**。
- ・家庭で学習ソフトを活用した学びや授業配信が実施できるように、**必要な家庭にモバイルルーターを貸与**。
- ・授業配信や遠隔授業が実施できるようにするために**教室のカメラ等の機器を整備**。
- ・授業で子どもの意見を共有したり映像や画像等を映し出せるようにするための**大型提示装置を整備**。

■コロナ対応等

※コロナウィルス感染症により、授業や行事において密を避ける対応が求められています。

→ ひとつの手法として、**学校行事等の情報発信を検討**。

※国際交流員がコロナウィルス感染症拡大に伴う入国制限を受け4月に帰国。新任の国際交流員の配置に向けて招致申請を行っているが、来日の見通しは立っていない状況です。

→ **オンライン英会話教室など、ネイティブと会話する学習機会の設定について検討**。

具体的な取組 ⑤公認心理師の配置

- ・ 子ども一人一人の個性や特性を活かし、15年を見通して子どもの持つ力を最大限に発揮できるようにする。
- ・ 保護者の皆様の子育てに対する負担や不安をできるだけ解消する。

■公認心理師の活動内容

- ・ 保育所と小学校、中学校を週1回ずつ訪問し、子どもとの信頼関係を構築する。
また、授業や活動を通して子どもの様子を把握し、個々の成長につなげる。
- ・ 教員に対して子どもとの関わり等について助言を行う。
- ・ 必要に応じて保護者の皆様の相談を受け、子どもの接し方や関わり方など、子育てに関するアドバイス等を行う。
- ・ 村民の皆様の心の健康に関する相談機会を提供する。

具体的な取組 ⑥子育て支援の充実について

■保育料無償化の継続

- ・全額無償(国の無償化の対象とならない0～2歳児等についても無償化を継続)

■保小中の保護者と教育行政の共同宣言後(令和2年5月1日)に子育て支援を充実

- ・子どもの医療費無償化・・・・・・・・・・18歳までに対象年齢を拡充
- ・高等学校等生徒通学費助成金・・・・・・安芸郡市の高校通学定期代見合額を上限に助成

■放課後子ども教室の充実

- ・保護者からのニーズに基づき、夏休みから朝7時30分から受け入れ開始予定
※仕事等により、通常より早い時間に受け入れが必要な家庭が対象

グループ協議

■これまで説明した令和2年度の子育て教育ビジョンの具体的な取組（北川学や子育て支援策、保小中連携の取組など）について感想や質問を出し合うなどして、グループで話し合ってください。

■その他、子どもや保育・教育に係ることで質問などありましたらお願いいたします。

■質問に対する回答は、後ほど事務局から回答させていただきます。

今後の検討事項～将来を見据えた子育て・教育の在り方について～

- 村の地域資源のさらなる活用
 - **子どもの自立や豊かな感性を磨く取組**（食育活動、アート教育等）
 - **ゆずを基盤とする企業等と連携した教育活動の推進**
- 生徒の語学力の向上に向けた体制整備
 - **海外派遣事業の拡充等**
- 子育て世代の移住促進を図り、児童生徒数を確保する観点
 - **山村留学制度等の在り方**
- ICTの環境整備
 - **専門家や高校、大学等との遠隔授業の在り方**
- 村の公園・図書館環境が脆弱、子育て世代の移住促進を図る観点
 - **子育て・文教エリアの魅力ある環境整備と保小中の一体的な組織体制の在り方**

今後の検討事項:子どもの自立や豊かな感性を磨く取組(食育)

- ・食育活動を通して、**子どもの自立心や自己管理能力を育む。**
- ・関係機関と連携を図りながら**保護者の食に関する啓発活動**を行い、**将来にわたって子どももや保護者が健康な生活を送ることができるようにする。**

■令和2年度 of 取組検討内容

- ・**栄養バランスについての学習や調理実習に関する授業・活動に加え、食材の収穫体験を実施。**
- ・食をはじめとする基本的な生活習慣の確立を目指した**生活改善アンケート**を実施。
- ・関係機関と連携を図り、**親子料理教室・収穫体験や食育に関する講演会・学習会**を開催。
- ・地域の食文化の継承を目指した**郷土料理教室**を実施。
- ・**先進地視察研修の実施、食育パンフレット**を作成・配布。

※今年度は、これまで保育所や小中学校で実施してきた食に関する授業や活動を一元化し検討している。

※コロナウィルス感染症の影響により、調理を伴う活動は当面自粛している状況。

※今後は、**子どもの自立心や自己管理能力を育む観点から、子ども主体の活動となるような視点を新たに持つ必要がある。**

※北川学や食育の他、北川村ならではの特色ある教育活動について検討中。

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

○現状

- ・村内の図書館や公園等の子育て・文教エリア環境が脆弱である。
- ・文教施設において、築年数が40年を超える建築物が多くみられ、ここ数年で築50年を超過する状況になる。
- ・そのようなことから、「子どもの多様な学習形態に応じた施設」や「防災や環境等に配慮した施設」とは必ずしもなりえていない。
- ・今後40年の施設の改修・補強等によるコストは約30億円、一方で施設の建て替えによるコストは約26億円と試算。（R2北川村学校施設等長寿命化計画より）
- ・保小中一体的な教育を推進しているものの、現状では保小中の校舎や敷地が別であり、15年を見通したより効率的・効果的な施設運用の視点が必要である。

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度 (西暦)	経年数	耐震基準	棟管理区分（独立棟又は一体棟として集約する棟番号）
1200	北川小学校	教室棟	1-1	RC	2	994	1972	47	旧耐震	教室棟（集約）1-1、1-2、1-3
		教室棟	1-2	RC	2	273	1972	47	旧耐震	教室棟（集約）1-1、1-2、1-3
		渡り廊下	1-3	S	1	18	1992	27	新耐震	教室棟（集約）1-1、1-2、1-3
		トイレ	2	S	1	51	1962	57	旧耐震	トイレ（独立棟）
		特別教室棟	4	S	2	135	2002	17	新耐震	特別教室棟（独立棟）
		特別校舎	5	S	1	400	2013	6	新耐震	特別校舎（集約）小学校5、中学校8-1
		小中共同調理場	1	RC	1	95	1972	47	旧耐震	小中共同調理場（集約）1、2
		小中共同調理場	2	RC	1	2	1972	47	旧耐震	小中共同調理場（集約）1、2
		プール	99	RC	1	367	1966	53		対象外（プール）
4040	北川中学校	南校舎	1-1	RC	2	600	1962	57	旧耐震	南校舎（集約）1-1、1-2、1-6
		南校舎	1-2	RC	2	215	1963	56	旧耐震	南校舎（集約）1-1、1-2、1-6
		南校舎	1-6	W	1	108	2007	12	新耐震	南校舎（集約）1-1、1-2、1-6
		北校舎	3-1	RC	2	350	1964	55	旧耐震	北校舎（集約）3-1、3-3
		北校舎	3-3	RC	2	238	1991	28	新耐震	北校舎（集約）3-1、3-3
		体育館	7-1	S	2	839	1991	28	新耐震	体育館（集約）7-1、7-2
		体育館	7-2	S	2	211	1991	28	新耐震	体育館（集約）7-1、7-2
		特別校舎	8-1	S	1	58	2013	7	新耐震	特別校舎（集約）小学校5、中学校8-1
		プール	99	RC	1	836	1992	27		対象外（プール）
6710	みどり保育所	園舎	1	RC	2	568	1978	41	旧耐震	園舎（独立棟）
		プール	99	RC	1	33	1992	27		対象外（プール）
計画対象施設（棟）の合計			17棟	5,155 ㎡				小学校1校、中学校1校、保育所1園		
計画対象外施設（工作物）の合計			3棟	1,236 ㎡				プール3か所		
総計			20棟	6,391 ㎡						

資料：学校施設台帳

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

- ① 子どもの多様な学習形態に対応した施設整備
- ② ICTを効果的に活用できる施設整備
- ③ 地域との連携・協働、学校施設の地域開放を目指した施設整備
- ④ 環境や防災に配慮した施設整備
- ⑤ 居住性の向上を目指した施設整備
- ⑥ 教職員の働く場としての機能向上を目指した施設整備
- ⑦ 保(幼)小中一体的な施設整備(義務教育学校＋保育所・幼稚園)

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

① 子どもの多様な学習形態に対応した施設整備



ラーニング・コモンズ。教室の四方にモニターを設置。テーブルごとに少人数学習が可能。
【同志社中学校(京都府京都市)】



各教室前のオープンスペース。多様な学習方法に対応するとともに、展示や集会スペースなど、多目的な利用が可能。
【糸魚川市立糸魚川小学校(新潟県糸魚川市)】



各教科教室群の前面に設けられた「教科の広場」。掲示や展示スペースのほか、多様な学習形態にも対応する。隣接する教師コーナーとの連携にも配慮。
【長岡市立東中学校(新潟県長岡市)】

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

② ICTを効果的に活用できる施設整備



普通教室でICTボードやタブレットPCを使用し。授業を行っている。

【千代田区立神田一橋中学校(東京都千代田区)】



普通教室に設置された可動式のICTボード。指導者用コンピュータと連動し、必要な情報をすばやく投影することが可能。

【千代田区立神田一橋中学校(東京都千代田区)】



黒板下に設置された情報端末の充電保管スペース。生徒それぞれが自作のカバーを掛けて保管。

【千代田区立神田一橋中学校(東京都千代田区)】

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

③ 地域との連携・協働、学校施設の地域開放を目指した施設整備



芝生化された校庭は地域ボランティアの手で維持管理が行われている。

【近江八幡市立桐原小学校(滋賀県近江八幡市)】



学校に併設されたコミュニティーセンター。

【近江八幡市立桐原小学校(滋賀県近江八幡市)】



学校の中に PTA 等が集まるための会議室を設け、様々な人が学校に参画しやすい環境をつくっている。

【近江八幡市立桐原小学校(滋賀県近江八幡市)】

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

④ 環境や防災等に配慮した施設



校舎等に太陽光発電設備や外壁・建具等の断熱化、井戸水・雨水利用、地中熱利用など様々な環境負荷低減の取組（エコスクール）が施されており、校内にも分かりやすく掲示。

【千代田区立神田一橋中学校（東京都千代田区）】



ビックルーフと呼ばれる屋根付きの半屋外広場。平常時は雨天の運動の場として、災害時には荷受け等のスペースとして多目的に利用可能。右手に見えるのは避難所スペースとなる体育館。

【長岡市立東中学校（新潟県長岡市）】



避難所スペースとなる体育館に隣接して受水槽を設置。断水時にはタンクから直接採水することが可能。

【長岡市立東中学校（新潟県長岡市）】

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

⑤ 居住性の向上を目指した施設整備



改修により教室と廊下の界壁を廊下側に1m拡張し、ICT 機器や机の配置に余裕を持たせている。
また、空調設備の導入や窓等の断熱処理により、居住性が大幅に向上している。
【千代田区立神田一橋中学校(東京都千代田区)】



中廊下型のため廊下が暗くなりがちであったが、改修により屋上に光ダクトを2箇所設けたことにより、柔らかな自然光を取り込めるようになった。
【千代田区立神田一橋中学校(東京都千代田区)】

今後の検討事項：子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

⑥ 教職員の働く場としての機能向上を目指した施設整備



各教科教室の脇に設けられたメディアセンター。基本的には教員のためのスペースであるが、時間外に生徒の質問を受ける学習スペースになることもある。

【坂井市立丸岡南中学校(福井県坂井市)】



職員室及び印刷室に隣接する教員用ラウンジ。教員用スペースはすべて校庭に面した配置となっている。

【近江八幡市立桐原小学校(滋賀県近江八幡市)】

今後の検討事項:子育て・文教エリアの魅力ある環境整備

先進的かつ特色ある学校施設の事例

⑦ 保(幼)小中一体的な施設整備(義務教育学校+保育所・幼稚園)



幼小中一体的な教育を目指して令和2年度義務教育学校として開校(幼稚園は令和3年度開校予定)。校舎の中心にライブラリーを配置し、地域交流スペースとともに地域にも開放予定であり、広大な敷地の中では森を遊びや学びの場として活用。また、異年齢の活動を意図的に仕組むなど、知識だけではなく体験を通して生きる力を育むことを目的とした施設となっている。
【軽井沢風越学園(長野県軽井沢町)】

現在の小中学校を義務教育学校として、令和4年4月に開校予定。また、同一敷地内に保育所を設置し、保小中の15年を見通した保育・教育の推進を図るとともに、中山間地域において、地域と共にある学校を目指している。
【大豊町立おおとよ小学校・大豊町中学校・大杉保育所】

グループ協議

- 図書館や公園の整備、保小中一体的な施設整備について、子ども・保護者・地域・教員それぞれの立場で意見を出し合ってください。
- ・ 地域開放の学校図書館や公園、保小中一体的な施設のニーズや必要性は？
- ・ 地域や子育て世代、子どもたちに必要な機能や施設は？

当面のスケジュール(案)

令和2年7月31日

■第2回学校運営協議会で議論①

令和2年8月下旬

■保護者懇談会で議論①

令和2年9月上旬

■第3回学校運営協議会で議論②

令和2年10月

■保護者懇談会で議論②

以後、学校運営協議会を3回程度、保護者懇談会を同程度開催予定

令和3年3月

■子育て教育ビジョン改訂

子育て教育ビジョン等の情報発信について

北川村のホームページなどで随時情報発信を行っています。
子育て教育ビジョンや保小中一体化、コミュニティ・スクール、北川学に関する情報や
学校運営協議会で話し合われている内容を今後も掲載していきます。

■子育て教育ビジョンホームページ



■教育委員会専用メールアドレス



■教育委員会公式LINE



■教育委員会公式Facebook



※QRコードはLINE画面上部の検索窓の右端にあるカメラアイコン【一】などからでも取り込み可能です！！